

琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議

かわら版 かわら版 かわら版 - 第4号 -

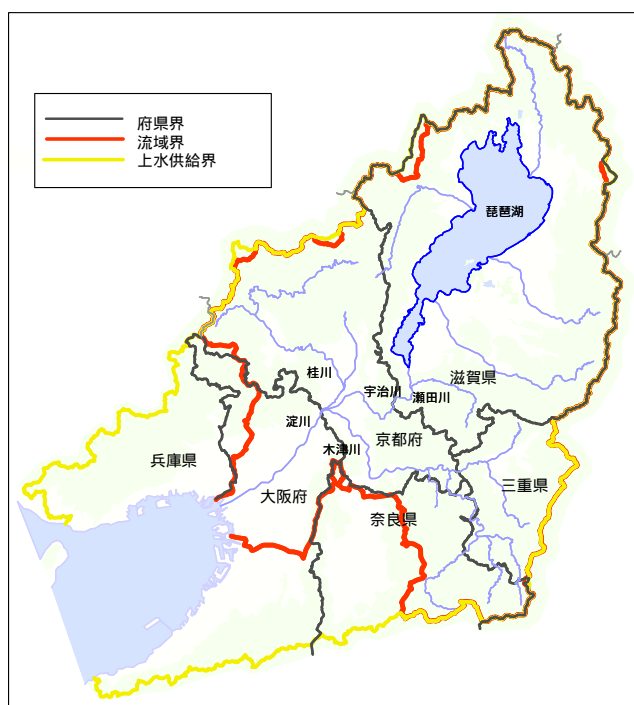
事務局：京都府文化環境部公営企画課

TEL:075-414-4373 FAX:075-414-5470

Email:koei@pref.kyoto.lg.jp

～ 平成21年10月発行 ～

流域府県図



構成団体

- ・三重県政策部地域づくり支援室
TEL:059-224-2419
- ・滋賀県琵琶湖環境部水政課
TEL:077-528-3360
- ・京都府文化環境部公営企画課
TEL:075-414-4373
- ・大阪府政策企画部企画室
TEL:06-6944-6118
- ・兵庫県企画県民部政策室ビジョン担当課
TEL:078-362-3057
- ・奈良県地域振興部資源調整課
TEL:0742-27-8489
- ・(財)琵琶湖・淀川水質保全機構
TEL:06-6920-3035

「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」とは

平成15年3月の「第3回世界水フォーラム」開催を契機に、流域6府県(三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県)で、水環境保全ネットワークの構築に向けて検討を進めるとともに、オブサーバとして(財)琵琶湖・淀川水質保全機構を含めた実務担当者による「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」を立ち上げました。

「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」の活動

水質や生態系などすべての水環境保全については、流域での一体的な取組が重要であることから、「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」は、府県間の連携した取組とともに、住民・NPOなど多様な主体との協働による取組を進めていくこととしています。

かわら版では、構成団体における水環境保全に関する取組を紹介します。

三重県

宮川流域ルネッサンス事業

宮川は、日本有数の多雨地帯である大台山系を源流とし、大内山川などの支流と合流して、伊勢湾に注ぐ、延長は約 90km、流域面積は 920km² に及ぶ三重県内を流れる川では最大の河川です。これまで、一級河川を対象とした国土交通省（旧・建設省）の水質調査で、全国一位になるなど、全国有数の清流として知られています。

三重県では、この宮川と共に生きるため、関係市町や国と連携し、平成 12 年 6 月 9 日に宮川流域ルネッサンス協議会を設立しました。以来、住民、企業、行政が協働して、地域の豊かな自然、歴史・文化を保全・再生しながら地域の活性化を図る宮川流域ルネッサンス事業を推進しています。

宮川ルネッサンス協議会では、地域全体を博物館と考え、住民自らが魅力的な地域づくりを行う「宮川流域エコミュージアム」、住民スタッフが、流域の約 50 ポイントで継続して水環境を調査する「宮川流域いっせいチェック」、宮川流域の子どもたちが交流を深め、自然や地域の大切さなど学ぶ「宮川流域子ども川サミット」等に取り組んでいます。

全国一位となった年度：平成 3・12・14・15・16・18・19・20 年



宮川中流域



宮川流域子ども川サミット

滋賀県

滋賀県では、昔から琵琶湖にいたフナやモロコといった在来魚を守るため、県条例で釣り上げたブラックバスやブルーギルといった外来魚を琵琶湖に戻さないという「びわこルール」を定めています。そこで、平成 20 年度より夏休み期間中に外来魚の釣り上げ駆除に協力してもらえる『びわこルールキッズ』を募集しています。

平成 20 年度は、滋賀県内の小学生に限定して募集を行いました。平成 21 年度は、対象を全国の小中学生に拡大して事業を実施しました。平成 21 年(2009 年) 7 月 25 日(土)には、びわこルールキッズメンバー登録会を兼ねて外来魚駆除釣り大会も実施し、特に淀川下流域の子どもさんを中心に琵琶湖へ来ていただき、琵琶湖のすばらしさを知ってもらうとともに、外来魚駆除の輪を広げることができました。

また、夏休み終了後に成果報告のあったキッズの中から、匹数や大きさにおいて特に優秀な成績を収めたキッズには、知事から表彰を行っています。びわこルールキッズは来年度も募集予定ですので、たくさんのご応募お待ちしております。あわせて各種外来魚駆除大会にもご参加いただけますようお願いいたします。

びわこルールキッズ事業の詳細につきましては、滋賀県琵琶湖レジャー対策室ホームページ (<http://www.pref.shiga.jp/d/leisure/>) をご覧ください。



外来魚駆除釣り大会



キッズ表彰式

京都府

身近な河川は、かけがえのない地域資源であり、地域の皆さんの大切な空間です。

京都府山城広域振興局では、住民と行政の協働により潤いある水辺環境の創出と環境意識の向上を目指して平成17年度から「山城うるおい水辺パートナーシップ事業」を実施しています。

事業内容については、京都府が管理する河川の一定区間において、定期的で継続的な美化清掃や環境保全、調査研究その他河川愛護の活動を行う住民団体等（協働団体）に対し、河川管理者である京都府（土木事務所）は、用具・研究資材の貸与・支給やボランティア保険加入及びサイン表示（看板設置）等の支援や広報などを行い、市町村に対して清掃回収された一般廃棄物の処分や広報その他の活動支援を要請するものです。

平成21年9月時点で16団体が「協働団体」の認定を受けられており、成果を上げていただいております。

詳しくは、<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/kensetu/urumizu.html> で紹介しています。



大阪府

大阪府では、私達が毎日使っている水がどのようにして作られているのかを見学していただくため、浄水場を見学するイベントを実施しております。

平成21年度は、皆様に「安全でおいしい水」について理解を深めていただくため、村野浄水場で『夏休み「水づくり体験」in 村野浄水場』を開催しましたが、大変好評で、600名近い府民の方にお越しいただきました。

今回のイベントは、「水づくり体験」と題し、汚れた水をきれいにする実験をとおして淀川の水がきれいになる様子や、普段は見られない施設などを見学していただきました。

また、利き水コーナーでは、できたての水道水とミネラルウォーターの飲みくらべなどを実施し、水道水の「おいしさ」を実感していただきました。

このようなイベントに参加していただくことで、水の大切さ、環境への配慮等について理解を高めるとともに、自分達に身近なところで何ができるのかを考えていただく契機とさせていただいております。

みなさんも機会があればぜひ参加してください。<http://www.pref.osaka.jp/suido/kengaku/index.html>



兵庫県

一庫（ひとくら）公園周辺における里山づくりの取り組みについて、ご紹介します
一庫公園は、川西市北部に建設された一庫ダムの貯水池〔知明（ちみょう）湖〕の湖畔に位置する都市公園で、昭和 57 年度から整備を進め平成 10 年 7 月に開園、平成 13 年度に完成しました。一庫公園周辺は、近郊緑地保全区域(近畿圏整備区域保全区画法)及び猪名川渓谷県立自然公園に指定されており、川西市等の市街地に近接しながら貴重な自然環境が残る地域です。またこの地域は、クヌギを原木とした黒炭「一庫炭」の産地として知られ、茶道用の高級炭「菊炭」として高く評価されています。一庫公園の整備にあたっては、園内に残る炭焼釜跡を再生し、実際に炭焼体験ができます。兵庫県では、自然再生や健全な水循環を県民の参画と協働により進めるため、「ひょうごの森・川・海再生プラン」を策定し、この中で、里山の保全・再生を進めることとしており、一庫公園では、NPO など市民団体を中心に、クヌギ林の再生や小学生等を対象とした環境学習など里山再生の取り組みが行われています。



市民による炭焼き



小学生を対象とした環境学習

【一庫公園】

- ・公園種別：広域公園
- ・面積 A = 48.2ha
- ・自然観察の森（クヌギ林、ヤブ・ウオーク、間歩跡、炭焼窯）A = 約25ha
- ・森の広場（芝生原っぱ）A = 約1.5ha
- ・森の遊び場 複合遊具 1式（約1,500㎡）
- ・ネイチャーセンター 1棟

奈良県

水の週間「ダム見学会」

奈良県では、毎年 8 月 1 日～ 7 日の「水の週間」にあわせ、ダム見学会を開催しています。奈良県の人口の約 9 0 % が住む大和平野地域は、雨が少なく、水量の豊富な大きな川もないため、水道用水の約 4 0 % は淀川水系から供給されています。その水源となっているダムを、県民のみなさまに見学していただくことで、水の大切さや、水源地域への関心を深めていただく機会になればと思っています。

ダムを管理している水資源機構関西支社との共催になりますので、ダムの目的などの説明を受けたり、普段入ることのできない堤体内部の見学をしたりすることができますので、夏休みの自由研究の題材などとしても好評を得ています。

今年(平成21年)は 8 月 4 日(火)に、定員の約 2 倍を越える応募者の中から選ばれた 7 9 名の方々に室生ダムと布目ダムを見学していただきました。天候にも恵まれ、満足していただけたのではないかと思います。

例年、7 月上旬頃に募集を行います。詳しくは、奈良県資源調整課のホームページに掲載しますので、興味のある方は募集内容をご確認のうえ是非参加していただければと思います。奈良県資源調整課ホームページ (http://www.pref.nara.jp/dd.aspx_menuid-1637.htm)



室生ダムのえん堤



布目ダムの説明



布目ダムの内部を見学

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構(以下 BYQ)では、身近な川への関心が薄れてきている中、昔のように川と親しむきっかけをつくることで水環境を考え直す機会づくりを目指して、琵琶湖・淀川流域とその給水区域の住民の方を対象に「WAQU²調査隊」という調査隊を平成16年から結成しております。

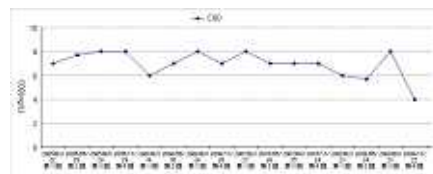
WAQU²調査隊員(平成20年時点304名、測定箇所は371カ所)は、BYQが配布する簡単な調査キットを使って身近な川で春・夏・秋・冬の年4回水質調査を行います。また調査の一環として、「身近な水環境の一斉調査」を行っている全国水環境マップ(<http://www.japan-mizumap.org/>)の取組にも参加しております。

BYQでは隊員の調査結果を、収集・整理しこれまでの各測定点の水質の変化をホームページ上で表示しております。また各測定毎の水質マップも作成し、隊員に配布しております。

WAQU²調査隊員は、毎年秋に募集しておりますが、随時参加可能です。詳しくはBYQのホームページ(<http://www.byq.or.jp/kankyo/waqu.html>)をご覧ください。



調査のようす



データの蓄積



平成21年の測定箇所